

**特大容量タンク「GIGA TANK」を搭載したビジネス向け新製品
インクジェット複合機「G7030/GM4030」を発売**

キヤノンは、特大容量タンク「GIGA TANK（ギガタンク）」を搭載したインクジェットプリンターの新製品として、カラー複合機「G7030」と、モノクロ複合機「GM4030」を2019年11月上旬より発売します。



G7030



GM4030

新製品は、いずれも大量印刷と低ランニングコストを実現する「GIGA TANK」を搭載し、「G7030」はADF（自動原稿送り装置）やファクス機能を搭載したカラー複合機、「GM4030」はADF搭載のモノクロ複合機です。オフィスや店舗などでファクスを使用し、普通紙でのカラー印刷の頻度が高いユーザー向けの「G7030」と、ビジネス文書などのモノクロ印刷が中心のユーザー向けの「GM4030」の発売により、「GIGA TANK」搭載モデルのラインアップを拡充し、幅広いユーザーのプリントニーズに応じていきます。

■ 特大容量タンク「GIGA TANK」と大量給紙などにより高生産性を実現

「G7030」は、ブラックインクボトル（別売り）1本分の容量で約8,300ページ^{※1}、カラーインクボトル（シアン/マゼンタ/イエロー・別売り）の場合は約7,700ページ^{※1}の大量印刷が可能です。インクコストは2機種ともA4モノクロ文書1ページ当たり約0.4円^{※2}、「G7030」はA4カラー文書1ページ当たり約0.9円^{※2}と低ランニングコストを実現しています。また、最大250枚積載可能な給紙カセットと、背面給紙を合わせて最大350枚の大量給紙による高い生産性を実現しています。さらに、2機種とも最大35枚積載可能なADFの搭載により、スキャンやコピーの際にカバーを開けることなく原稿の連続読み取りが可能になり、業務効率の向上に貢献します。

■ 幅広いビジネスニーズに応える多彩な機能

「G7030」はブラック2本とカラー各色1本ずつ、「GM4030」はブラック2本のインクボトルを本体に同梱しています。独自のブラックインクにより、高濃度でくっきりとした視認性の高い印字が可能です。「G7030」はファクス機能を搭載し、「GM4030」はモノクロ複合機でありながら、カラーのインクカートリッジ（別売り）を装着^{※3}することでカラー印刷も可能となり、ビジネスシーンにおけるさまざまなニーズに対応することができます。

製品名	希望小売価格	発売日
G7030/GM4030	オープン価格	2019年11月上旬

※1 エコノミーモード時。標準モード時はブラックインクボトル（別売り）1本分の容量で約6,000ページ、カラーインクボトル（シアン/マゼンタ/イエロー・別売り）の場合は約7,700ページ。印字可能枚数は、A4カラー文書ISO/IEC 24712を使用し、キヤノン独自の測定方法で算出したものです。なお、「GM4030」はブラックインクボトル1本分の容量で約8,300ページ（エコノミーモード時）。印字可能枚数は、A4モノクロ文書ISO/IEC 19752を使用し、キヤノン独自の測定方法で算出したものです。いずれも、初めてプリンターを使用する際に充填したインクボトルではなく、2回目以降に充填するインクボトルを使用して算出しています。

※2 税別。普通紙使用、標準モード時。インクコストは「家庭用インクジェットプリンターの印刷コスト表示に関するガイドライン」（一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）制定）に従い記載しています。測定環境の詳細は、キヤノンホームページをご参照ください。

※3 カートリッジ装着後は速やかに使い切ることを推奨しています。

● 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 050-555-90067
● ビジネスインクジェットプリンターホームページ : canon.jp/bij

<主な特長>

1. 特大容量タンク「GIGA TANK」と大量給紙などにより高生産性を実現

- ・特大容量タンク「GIGA TANK」を搭載し、大量印刷が可能。「GIGA TANK」は、ふたを開けてインクボトルを挿すだけで、インクが注入され、満タンになると自動で注入が終了するため、簡単にインク補充が可能。
- ・“G7030”はブラックインクボトル（別売り）1本分の容量で約8,300ページ、カラーインクボトル（シアン/マゼンタ/イエロー・別売り）の場合は約7,700ページの大量印刷が可能（エコノミーモード時）。
- ・“GM4030”はブラックインクボトル1本分の容量で約8,300ページの印刷が可能（エコノミーモード時）。
- ・インクコストは2機種ともA4モノクロ文書1ページ当たり約0.4円、“G7030”はA4カラー文書1ページ当たり約0.9円と低ランニングコストを実現。
- ・インク残量通知機能を搭載。残量が少なくなると通知し、印刷途中のインク切れ防止に貢献。
- ・高密度プリントヘッド技術「FINE」により、2機種ともA4でモノクロ約13ipm、“G7030”はカラー約6.8ipmの高速プリント*を実現。
- ・最大250枚積載可能な給紙カセットを搭載。背面給紙と合わせ最大350枚の大量給紙が可能。
- ・自動両面印刷に対応し、効率的に用紙を利用することが可能。
- ・プリントに加えて、スキャンやコピーが可能。
- ・最大35枚の原稿を積載可能なADFを搭載しているため、スキャンやコピーの際に原稿の連続読み取りが可能。
- ・プリントヘッドをオンラインショップや店頭で購入できるため、ユーザーが自分でヘッドを交換することが可能となり、ダウンタイム低減に寄与。

※ 普通紙への文書プリントスピードはISO/IEC 24734のオフィスカテゴリーテストによる片面印刷ESAT (Estimated Saturated Throughput)の平均値。「ipm」とは「image per minute」の略で、1分あたりに出力できる枚数もしくは面の数。



最大 350 枚の大量給紙と ADF (イメージ図)

2. 幅広いビジネスニーズに応える多彩な機能

- ・“G7030”はブラック2本とカラー各色1本ずつ、“GM4030”はブラック2本のインクボトルを本体に同梱。
- ・独自のブラックインクにより、高濃度でくっきりとした視認性の高い印字が可能。
- ・“G7030”はファクス機能を搭載しているため、ビジネスでファクスを使用するユーザーに対応。
- ・“GM4030”はモノクロ複合機でありながら、カラーインクカートリッジ（別売り）を装着することで、カラー印刷にも対応。
- ・Wi-Fi と有線 LAN の両方に対応しているため、オフィスレイアウトやビジネススタイルに応じて、柔軟に設置可能。
- ・無料アプリ「Canon PRINT Inkjet/SELPHY」により、スマホやタブレット内の文書やウェブページ※、写真などをワイヤレスでプリントが可能。また、コピーやスキャンなどの本体操作が可能。さらに、各種ストレージサービスなどと連携し、クラウド上の写真や文書を簡単にプリントでき、スマホやタブレットから印刷指示が可能。
- ・無料ソフトウェア「PosterArtist Lite」を使用すれば、約 200 種類のテンプレートからデザインを選択し、写真やクリップアートなどの素材を自由に使い、チラシなどを簡単に作成することが可能。



”G7030”に同梱の
大容量インクボトル

※ ウェブページの印刷はAndroid™のみ対応。

<ご参考：「GIGA TANK」搭載モデル一覧>

		製品名	発売日
カラー	複合機	G7030 New	2019年11月上旬
		G6030	2019年6月6日
		G3310	2018年2月22日
	プリンター	G5030	2019年6月6日
		G1310	2018年2月22日
モノクロ	複合機	GM4030 New	2019年11月上旬
	プリンター	GM2030	2019年6月6日

<インクジェットプリンターの市場動向>

インクジェットプリンターおよびインクジェット複合機の市場において、2018年の出荷台数は国内では約402万台、全世界では約5,977万台でした。2019年の出荷台数については国内では約375万台、全世界では約5,868万台と見込まれています※。

※ 出典：IDC, Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker, 2019Q1

<主な製品仕様>

各モデルの製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。

- * 無料アプリは、iOSはApp Storeから、AndroidはGoogle Playからのダウンロードが必要。
- * iOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- * App Storeは、Apple Inc.の商標です。
- * Android、Google Playは、Google LLCの商標です。
- * Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。